

現地調査による津波観測点付近の津波の高さについて

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震に伴う津波により、東北地方太平洋岸の津波観測地点では、施設が被害を受けるなどにより、津波の観測が欠測となり、実際の津波の最大値が得られていない地点があります。

気象庁では3月28日から4月2日までに、これらの津波観測点付近において津波の痕跡等から津波の高さの調査を行いました。

推定した津波の高さは以下の通りです。

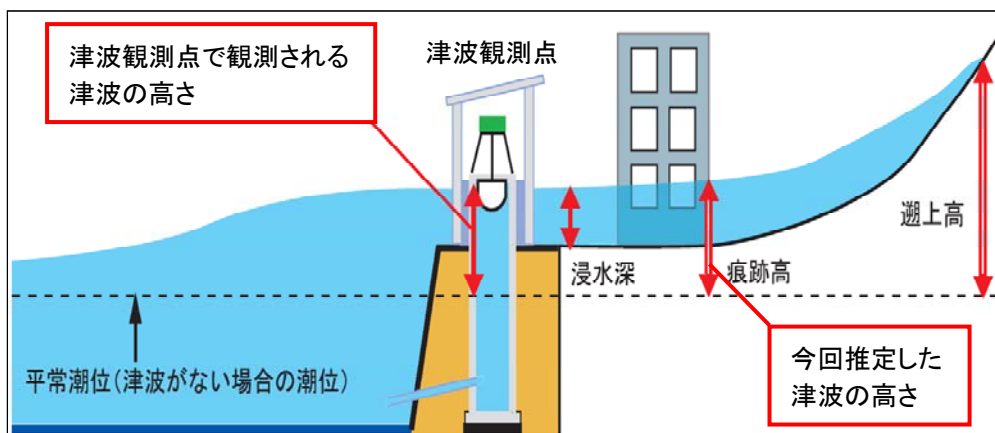
観測点名	痕跡等から推定した津波の高さ	津波計等による津波の最大の高さ (※)
八戸(青森県)	6.2m	2.7m以上
久慈港(岩手県)	8.6m	—
宮古(岩手県)	7.3m	8.5m以上*
釜石(岩手県)	9.3m	4.1m以上
大船渡(岩手県)	11.8m	8.0m以上*
石巻市鮎川(宮城県)	7.7m	7.6m以上*
仙台港(宮城県)	7.2m	—
相馬(福島県)	8.9m	7.3m以上

※ 津波情報(津波観測に関する情報)で発表された速報値、または、後日現地で回収した津波観測点の記録の分析結果です(*印)。観測施設が大きな被害を受けており、その影響により適切に津波の高さを観測できていない可能性があります。

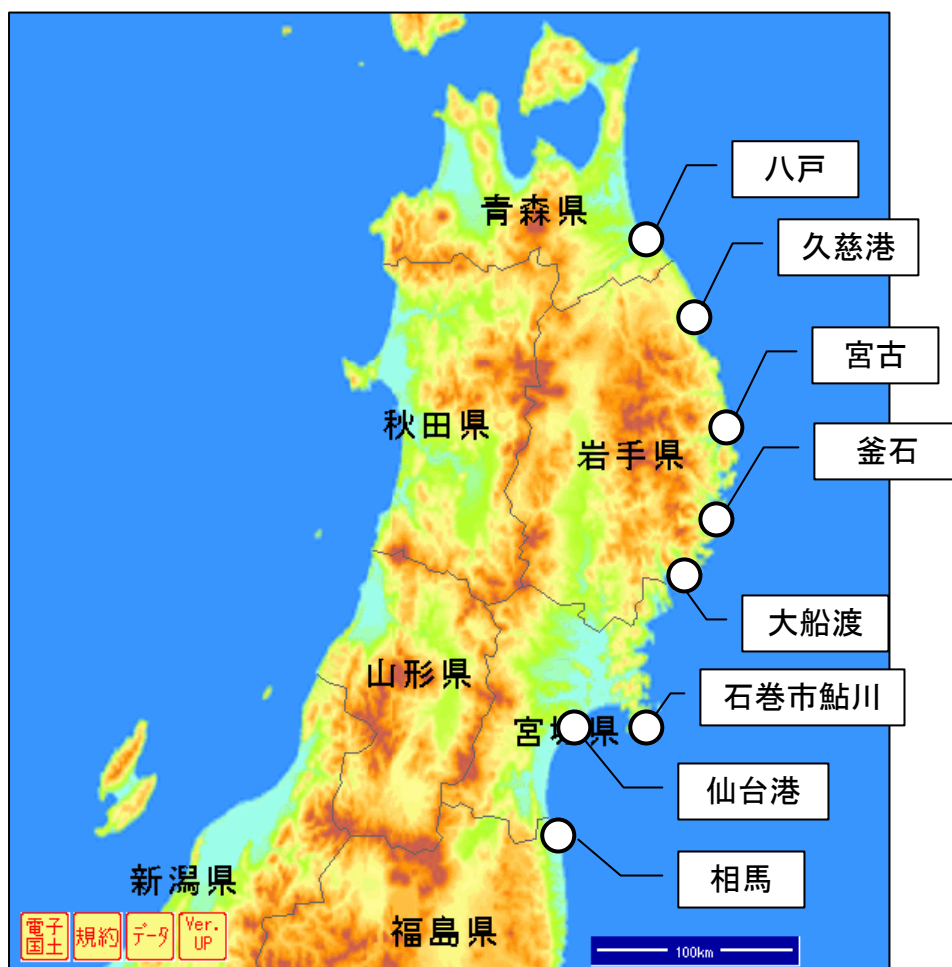
本件に関する問い合わせ先：

地震火山部地震津波監視課 03-3284-1743 (内線 4542)

(参考)



※津波の高さの推定には、各津波観測点の潮位の予測値（天文潮位）を用い、痕跡高から推定しています。



調査を実施した津波観測点

○津波観測点付近で確認した津波の痕跡

[黄色線・赤矢印 : 痕跡または漂着物が認められた位置を示す]

・八戸



・久慈港



・宮古



・釜石



・大船渡



・石巻市鮎川



・仙台港



・相馬

